

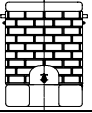




## 施工をされる方へ

# タキロン 雨水貯留タンク 雨音くん 200リットル — 施工説明書 —

雨水貯留タンク『雨音くん』をお買い上げいただきまして誠に有り難うございます。  
この施工説明書をよくお読みになり、内容をご理解された上で施工ください。  
ここに示した注意事項は、商品の性能・機能及び強度や安全性を確保する上での重要な内容です。  
施工にあたっては必ずお守りください。  
別途取扱説明書が付属されておりますので必ずお施主様へお渡しください。

### 梱包内容確認

- ・開梱時に種類と数量を確認してください。
- ・商品に破損や異常がないか確認してください。
- ・万一商品に破損や異常がある場合、または部品が不足している場合には購入された販売店様又はタキロン(株)までご連絡ください。

名称	略図	数量	名称	略図	数量
タンク本体 (架台付)		1セット	集水継手 (キャップ付き)		1個
			ホース (70cm)		1本
ホースバンド		2個	取扱説明書 施工説明書		各1部

施工時に必要な工具及び部材をタンクの取付け前に準備ください。

		工 具	個 数	用 途
工 具	1.	ペン(油性)	1本	たてどい切断時のマーキング
	2.	粘着テープ	1本	たてどい切断時の目安とかん合調整
	3.	1m程度の真直ぐな棒または角材	1本	たてどい切断基準線の確認
	4.	ものさし	1本	たてどい切断位置の寸法測定
	5.	カッターナイフ	1本	たてどい切断後の端面処理
	6.	手袋(軍手)	1組	作業時の保護具
部材	7.	シーリング材	20g程度	取水口とキャップとの止水用

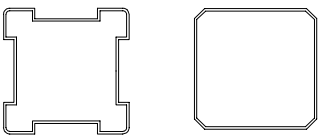
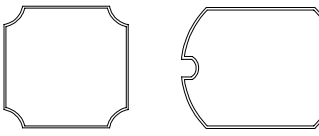
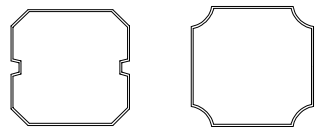
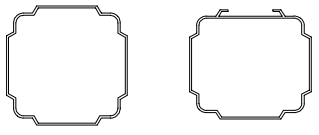

# 施工の前に

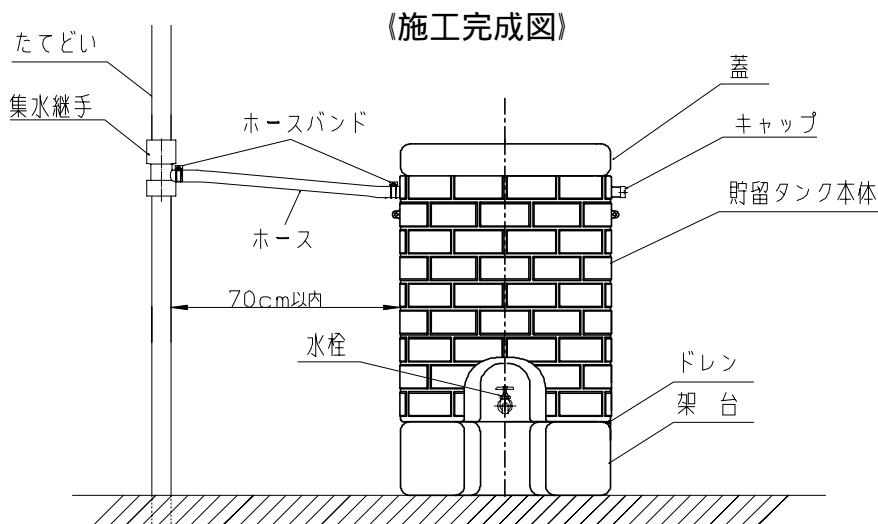
・施工可能なたてどい

**注意1** 集水継手とたてどいは接着しないでください。メンテナンスが出来なくなります。

**(備考)** 下記以外のたてどいに取り付ける場合は、集水継手を取り付ける部分を丸たてどい160に変更してください。  
丸たてどいに変更する部材が各メーカーで用意されています。必ず角たてどいと同じメーカーの商品を使用してください。  
必要数量 ・丸たてどい160 50cm、 ・丸たてどいに変更する部材 2個

ここに示した注意事項は、商品の性能・機能及び強度や安全性を確保する上での重要な内容です。 単位:mm

	メーカー名	呼称	切断寸法		断面形状	備考
			A	B		
丸たてどい	各社共通	サイズ'55	35	85		糸を一周巻いてその長さが約173mmであればサイズ'55です。
		サイズ'60	50	70		糸を一周巻いてその長さが約190mmであればサイズ'60です。
角たてどい	タキロン(株) takiron	U60	35	85	U60 T30 	
		T30	50	70		
	積水化学工業(株) SEKISUI	Y60	50	70	Y60 MY60 	
		MY60	35	85		
	松下電工(株) National	PC30	35	85	PC30 S30 	
		S30	50	70		
	電気化学工業(株) (東洋化学(株))	K-35	50	70	K-35 F-35 	
		F-35	35	85		
	三菱樹脂(株)	V・60	50	70	V・60 	



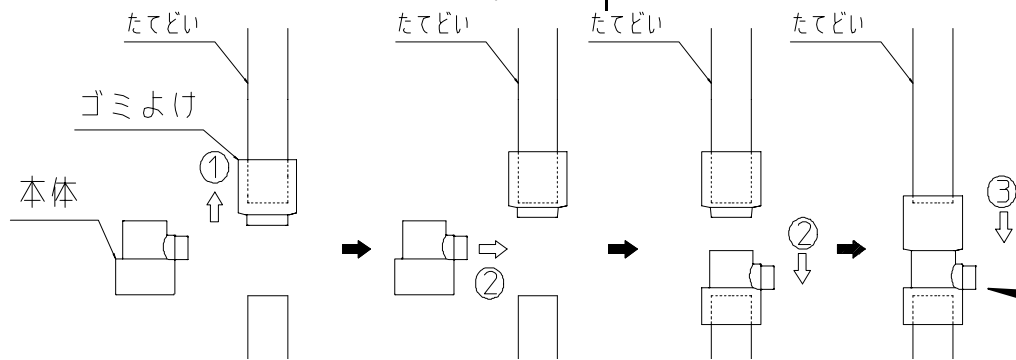
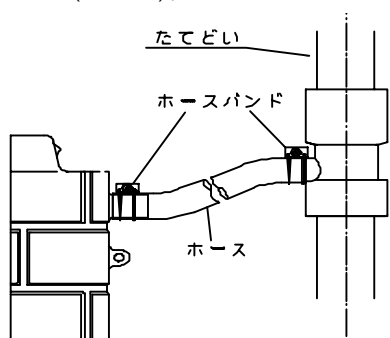
## 注意 2

集水継手の位置によりタンク内に雨水が入らない場合やタンクから雨水があふれる事があります。次ページの施工手順をよく読み施工してください。

タンク主要寸法  
幅736mm × 奥行498mm × 高さ1100mm

# 施工手順

取付け手順	ポイント
<p>(1) 蓋を外しタンク本体の内部から付属部品を取り出します。</p> <p>(2) タンクの設置場所を決め、地面を水平に踏み固めます。タンクが満水になると重量が約250kgになりますので、地面の沈下等などの恐れがある場合は、コンクリート等の基礎を施してください。</p>	<p>・雨水の取水は左右どちらからでも可能です。</p> <p>・たてどいからタンクまでの距離は付属のホース(70cm)が届く範囲とします。</p> <p>・タンク本体は、満水時にタンク背面が膨らむため、壁面から5cm程度離して設置してください。</p>
<p>(3) たてどいに基準線をつけます。このときタンクの蓋は取り外した状態で行ってください。タンク本体上面と同じ高さの位置を基準線としてマジックでたてどいに印を付けます。</p>	<p>・棒または角材をタンク本体の上面にのせて作業を行うと位置が確認し易いです。</p>
<p>(4) 各メーカーのたてどいに対応した寸法でたてどいを切断してください。たてどいの切断寸法は、2ページの一覧を参照してください。切断後、たてどいの端部をきれいに仕上げてください。</p> <p><b>重要ポイント!!</b></p>	<p>・印を付けた部分にテープを一周貼ると、目安になり切断作業が行い易くなります。</p>
<p>たてどいの切断位置を間違え、集水継手のホース取付部がタンク天面ラインよりも上になると、タンクが満水になった時に雨水がタンク上面からあふれます。また取水口上部ラインよりも下になると、雨水がタンク内に入って行きません。</p>	

<p>(5) 集水継手の取り付けを行います。        ゴミよけを上側たてどいに入れます。        本体を取付けます。このとき、ゴミよけを上側に移動させ本体を横から入れ、下げて下側のたてどいにセットします。        ゴミよけを下げ本体にしっかりと取り付けます。</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集水継手は掃除できるよう、たてどいと接着しないでください。</li> </ul>
<p>(6) 集水継手とタンクをホースで連結し、ホースバンドで止めます(2ヶ所)。</p> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホースが長い場合は、たるみがないようにホースを切断して使用ください。</li> <li>・ホースがねじれたり、折れ曲がったりしないように注意してください。</li> <li>・集水継手が傾かないように施工してください。</li> <li>・集水継手のホース接続部の位置が取付可能範囲内にあるか確認してください。</li> </ul>
<p>(7) ホース接続側と反対側の取水口に、集水継手に付属していたキャップを取付け、シーリング材で止水します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・取水口やキャップの汚れや水分を除去してからシーリング材を塗布してください。</li> </ul>
<p>(8) 本体に蓋を取り付けて完成です。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・タンクに水を入れ水漏れ等がないか確認してください。</li> </ul>

## ⚠ 注意

### 施工上の注意

タンクの持ち運び時、たてどいの切断作業時は必ず手袋(軍手)を着用してください。  
 タンクは重量物です。無理のない姿勢で運搬ならびに作業を行ってください。  
 商品に油や洗剤、シンナー等の有機溶剤をこぼした場合、完全にふきとってください。  
 指定の部品以外は使用しないでください。  
 施工後、ガタつきやキャップなどが閉まっているか、その他使用上危険な箇所がないか点検してください。  
 ドレンキャップの締付けが弱いと水漏れの原因になりますので、手での締付けを十分に行ってください。  
 取扱説明書に基づき、商品の使い方や保守・点検方法及びメンテナンス方法を必ずお施主様へ説明してください。  
 改造などは絶対にしないでください。  
 小さなお子様周辺で遊ぶ箇所に設置する場合は、タンク本体のフック掛け(左右)を利用してクサリ(市販品)を取り付けるなど転倒防止策を施してください。

### 保管、取扱い上の注意

商品の取扱いは必ず手袋(軍手)を着用してください。  
 タンクは上積みしすぎると荷くずれをおこし、ケガをする危険性があります。2段以上は積まないでください。  
 また、横積み状態での保管は避けてください。  
 商品の放り投げは人にあたってケガをさせたり、商品が破損する危険性があります。絶対に行わないでください。  
 タンクはプラスチック製ですので火気を近づけたりしないでください。  
 熱による変形や着火すると重大事故発生の可能性があります。